



和歌山県報

発行 和歌山県
和歌山市小松原通一丁目1番地
毎週火、金曜日発行
定価 (送料共) 1 か月 2,200 円

目次 (*については県法規集掲載事項)

○ 規則

- *30 母子及び寡婦福祉法施行細則の一部を改正する規則
(子育て推進課)

規 則

和歌山県規則第30号

母子及び寡婦福祉法施行細則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成18年3月31日

和歌山県知事 木村良樹

母子及び寡婦福祉法施行細則の一部を改正する規則

母子及び寡婦福祉法施行細則(昭和39年和歌山県規則第105号)の一部を次のように改正する。

別記第1号様式及び別記第1号様式の2を次のように改める。

(表)

別記第 1 号様式 (第 2 条関係)
(その 1)

母 子 福 祉 資 金 貸 付 申 請 書

寡 婦

和 歌 山 県	※受付年月日	※貸付決定・不決定年月日	※貸付番号	※取 扱 者	
申 込 金 額	総額 円 (月額 円)				
貸 付 金 の 種 類	の 資 金		総借入予定額	円	
貸 付 期 間	年 月 年 月 まで		据 置 期 間	年 月 年 月 まで	
償還方法及び期間	年賦 ・ 半年賦 ・ 月賦 年償還				
申 請 者	(ふりがな) 氏 名			(ふりがな) 氏 名	
	生 年 月 日	年 月 日生		生 年 月 日	
	住 所	〒		住 所	
	連 絡 先	電話 () 番	児童等		
		申請者との続柄			
		修学・修業先又は就職先の名称			
貸付けを受けようとする理由					
配偶者のない女子となった事由	〔死亡、離婚、遺棄、海外在留、法令拘禁〕 〔未婚の母、精神・身体障害等〕		左記事由発生日 年 月 日		
家 庭 の 状 況	続 柄	氏 名	年 令	職 業	収 入
他の借入金の状況 (母子及び寡婦福祉資金を含む)	借入金の種類		借入年月日		
	借 入 金 額		未 償 還 額		
	償還完了予定年月日		実 施 機 関		
借入後の事業計画	(種類)				
	----- (内容)				

(裏)

連 帯 保 証 人 の 状 況	(氏名) (生年月日) 申請者 との関係
	(住所) 〒 電話 () 番
	(職業) (収入) 円 (主な資産) 円 (主な負債) 円
	(氏名) (生年月日) 申請者 との関係
	(住所) 〒 電話 () 番
	(職業) (収入) 円 (主な資産) 円 (主な負債) 円
備 考	児童扶養手当、年金等受給の場合は記入のこと

母子及び寡婦福祉法による 資金の貸付けを受けたいので関係書類添付の上、上記のとおり申請します。

年 月 日

借 受 申 請 者 印

連 帯 借 主 (児 童 等) 名 印

上記の借入れについて、連帯して債務を負担します。

年 月 日

住 所
連 帯 保 証 人 氏 名 印

住 所
連 帯 保 証 人 氏 名 印

和歌山県知事 様

(注意)

- ※印欄には、記入する必要はありません。
- 貸付期間欄には、修学資金、修業資金、技能習得資金、生活資金又は特例児童扶養資金を借り受けようとする場合にのみ記入してください。
- 償還方法及び期間欄には希望する償還方法を○で囲み、償還期間を記入してください。
- 児童等欄には、修学資金、修業資金又は就学支度資金を借り受けようとする場合のみ記入してください。
- 貸付けを受けようとする理由欄には、その理由をなるべく具体的に記入してください。
- 借入後の事業計画欄は、事業開始資金又は事業継続資金を借り受けようとする場合に記入してください。
- この申請書には、戸籍謄本又は抄本その他必要な書類を添付してください。

(表)

(その 2)

母子福祉資金貸付申請書 (児童申請用)					
和歌山県	※受付年月日	※貸付決定・不決定年月日		※貸付番号	※取扱者
申込金額	総額 円 (月額 円)				
貸付金の種類	資金		総借入予定額	円	
貸付期間	年 月 年 月 まで		据置期間	年 月 年 月 まで	
償還方法及び期間	年賦 ・ 半年賦 ・ 月賦 年償還				
申請者・児童等	(ふりがな) 氏名	法定代理人 (申請者の母等)		(ふりがな) 氏名	
	生年月日	年 月 日生		生年月日	年 月 日生
	住所	〒		住所	〒
	連絡先	電話 () 番	連絡先		電話 () 番
貸付けを受けようとする理由					
申請者の母等が配偶者のない女子となった事由	〔死亡、離婚、遺棄、海外在留、法令拘禁〕		左記事由発生年月日		
	〔未婚の母、精神・身体障害等〕		年 月 日		
家庭の状況	続柄	氏名	年令	職業	収入
他の借入金の状況 (母子及び寡婦福祉資金を含む)	借入金の種類		借入年月日		
	借入金額		未償還額		
	償還完了予定年月日		実施機関		

(裏)

連帯保証人の状況	(氏名) (生年月日)	申請者との関係
	(住所) 〒	電話 () 番
	(職業) (収入) 円	(主な資産) 円 (主な負債) 円
備考	児童扶養手当、年金等受給の場合は記入のこと	

母子及び寡婦福祉法による 資金の貸付けを受けたいので関係書類添付の上、上記のとおり申請します。

年 月 日

借受申請者

印

申請者 の 資金の借入申請に同意します。

年 月 日

法定代理人

印

上記の借入れについて、連帯して債務を負担することを約します。

年 月 日

住 所

連帯保証人

氏 名

印

和歌山県知事 様

(注意)

- ※印欄には、記入する必要がありません。
- 貸付金の種類欄には、修学資金、修業資金、就学支度資金、就職支度資金のいずれかを記入してください。
- 貸付期間欄には、修学資金又は修業資金を借り受けようとする場合のみ記入してください。
- 償還方法及び期間欄には希望する償還方法を○で囲み、償還期間を記入してください。
- 貸付けを受けようとする理由欄には、その理由をなるべく具体的に記入してください。
- この申請書には、戸籍謄本又は抄本その他必要な書類を添付してください。
- 申請に際しては、法定代理人（親権者）の同意が必要です。同意の署名には、必ず法定代理人が自署してください。

(表)

(その 3)

母子福祉資金貸付申請書 (父母のない児童申請用)						
和歌山県		※受付年月日		※貸付決定・不決定年月日		※貸付番号
申込金額		総額 円 (月額 円)				
貸付金の種類		資金		総借入予定額		円
貸付期間		年 月 年 月 まで		据置期間		年 月 年 月 まで
償還方法及び期間		年賦 ・ 半年賦 ・ 月賦 年償還				
申請者 (児童等)	(ふりがな) 氏名		親権を行う者又は後見人	(ふりがな) 氏名		
	生年月日			生年月日		年 月 日生
	住 所			住 所		〒
	修学、修業先又は就職先の名称			申請者との続柄		
	連絡先			電話 () 番		連絡先
貸付けを受けようとする理由						
両親の状況		(父母が死亡) (父母の生死が明らかでない) (父母から遺棄されている) (父母が海外にあるためその扶養を受けることができない) (父母が精神又は身体の障害により扶養を受けることができない)				
		上記事由発生の年月日 年 月 日				
家庭の状況		続柄	氏名	年齢	職業	収入
他の借入金の状況 (母子及び寡婦福祉資金を含む)		借入金の種類			借入年月日	
		借入金額			未償還額	
		償還完了予定年月日			実施機関	

(裏)

連帯保証人 の 状 況	(氏名) _____ (生年月日) _____ (申請者との関係) _____
	(住所) _____ 〒 _____ 電話 (_____) _____ 番
	(職業) _____ (収入) _____ 円 (主な資産) _____ 円 (主な負債) _____ 円
	(氏名) _____ (生年月日) _____ (申請者との関係) _____
	(住所) _____ 〒 _____ 電話 (_____) _____ 番
	(職業) _____ (収入) _____ 円 (主な資産) _____ 円 (主な負債) _____ 円
備 考	

母子及び寡婦福祉法による 資金の貸付けを受けたいので関係書類添付の上、上記のとおり申請します。

年 月 日 借 受 申 請 者 印

申請者 の 資金の借入申請に同意します。

年 月 日 法 定 代 理 人 印

上記の借入れについて、連帯して債務を負担します。

年 月 日 住 所 _____
連帯保証人 氏 名 _____ 印

住 所 _____
連帯保証人 氏 名 _____ 印

和歌山県知事 様

(注意)

- ※印欄には、記入する必要はありません。
- 貸付金の種類欄には、借り受けようとする資金の名称を記入してください。
- 貸付期間欄には、修学資金又は修業資金を借り受けようとする場合のみ記入してください。
- 償還方法及び期間欄には、年賦、半年賦、月賦の方法について希望するものを○印で囲み、償還期間を記入してください。
- 家庭の状況欄には、申請者の居住地の家族全員について記入してください。ただし、申請者の住所が親権を行う者又は後見人の住所以外の場合は、親権を行う者又は後見人の家族についても記入してください。
- 貸付けを受けようとする理由欄には、その理由をなるべく具体的に記入してください。
- この申請書には、戸籍謄本又は抄本その他必要な書類を添付してください。
- 申請に際しては、法定代理人(親権者)の同意が必要です。同意の署名には、必ず法定代理人が自署してください。

(表)

別記第 1 号様式の 2 (第 2 条関係)

母子
寡婦 福祉資金貸付申請調査書

資金	申請者 住所 氏名	生年月日	児童名 生年月日 (年 月 日 歳)	児童名 生年月日 (年 月 日 歳)
(家庭状況等)		(参 考 事 項)		
(資金の用途)				
(連帯保証人について)				
(第 1 次審議の結果)				
		調 査 年 月 日		調 査 者 氏 名
		年 月 日		

※事業開始資金・事業継続資金の場合は裏面も記入すること。

(裏)

(事業開始資金・事業継続資金)

申請者の状況	資産	種類	内容	金額	家屋の状況	構造	造	階	
	負債	種類	借入金額	借入先		償還期間	1回の償還額	残額	
事業概要	資金種別				借入後の収支見込	収入		支出(経費)	
	事業内容					1日の売上 (客単価×客席数×回転)又は (客単価×来客数)又は(商品 単価×個数)	仕入 家賃地代 電気ガス代等 償還金 諸経費	円 円 円 円 円	
	事業場所	(通勤時間)				計	円(1)	計	円(3)
	従業員数								
	営業時間								
	開業の動機								
	申請金額					1日の売上(1)×1ヶ月営業日	円(2)		
	勤務先及び年収等資格特技等					差引純利益(2)-(3)		円	
	資金計画	使途				資金計画		事業勤務中における子供の養育等	官公庁の許可とその状況
						自己資金			
				借入金	福祉資金	円			
	計			計	計	円			

別記第5号様式中「殿」を「様」に改める。

別記第5号様式の2中「明大昭」を削る。

別記第7号様式を次のように改める。

別記第8号中

※貸付年月日 (決定) 及び番号	※貸付年月日	※取扱者

を

※貸付決定・不決定年月日	※貸付番号	※取扱者

に、

Ⓜ

「殿」を「様」に、

申込金額	
資金の種類	

を

申込金額	円
資金の種類	資金

に、「償還の方法」を

「償還方法」に改める。

別記第9号様式を次のように改める。

別記第 9 号様式 (第 3 条関係)

(その 1)

第 年 月 日 号

様

和歌山県知事



母子 福祉資金貸付決定通知書
 寡 婦

年 月 日付け申請の母子福祉資金は、次のとおり貸付

けることに決定しましたので通知します。

貸付金の種類	資 金		
貸付決定番号			
貸付金額	金	円 (月額	円)
貸付期間	年	月から	年 月まで
償還期間	年	月から	年 月まで
償還方法	月賦、半年賦、年賦	第 1 回分	円
		第 2 回分以降	円ずつ

(その2)

第 号
年 月 日

様

和歌山県知事



母子 福祉資金貸付決定通知書
寡 婦

年 月 日付け申請の母子福祉資金は、次のとおり貸付
寡婦

けることに決定しましたので通知します。

貸付金の種類	資 金
貸付決定番号	
貸付金額	金 円 (月額 円)
貸付期間	年 月から 年 月まで

なお、上記貸付金額は、 年度分である。

別記第10号様式及び別記第10号様式の2を次のように改める。

別記第10号様式 (第4条関係)

(表)

母子
寡婦 福祉資金貸付金借用書

年 月 日

和歌山県知事 様

借 主 住 所
氏 名連帯借主 住 所
氏 名

次のとおり借用します。ついては、母子及び寡婦福祉法及びこれに基づく政令等の定めるところに誠実に従い相違なく償還します。

資 金 の 種 類	資 金	貸付決定番号	号
借 受 金 額	総額	円也 (月額	円也)
利 子	年 利	%	
借 受 期 間	年 月 から	年 月 まで	
償 還 期 間	年 月 日 から	年 月 日 まで	
償 還 方 法	月賦、半年賦、年賦償還 第1回分 第2回分以降	円 円ずつ	回

※数年にわたり継続して貸付けられる資金については、単年ごとの貸付決定となっております。

上記貸付金の借受けにつき、借主と連帯して裏面特約事項に従い債務を負担することを約します。

連帯保証人 住所
氏名

連帯保証人 住所
氏名

※借主が未成年の場合、法定代理人（親権者）の同意が必要です。

借主 の借受けに同意します。

法定代理人 住所
氏名

(注) 署名者全員の印鑑登録証明書を添付してください。

(裏)

特 約 事 項

(償還)

この資金の償還に当たっては、決定された償還方法と期間に基づいて和歌山県知事が発行する納入通知書により、和歌山県の指定金融機関、指定代理金融機関及び収納代理機関へ納入する。

(違約金)

元金及び利子を納入期限までに納入しなかった場合は、母子及び寡婦福祉法施行令第17条に従って、延滞元利金額につき年10.75%の割合で支払期日の翌日から支払当日までの日数により計算した違約金を支払う。

(一時償還)

借主が母子及び寡婦福祉法施行令第16条に該当した場合は一時償還する。

(保証債務)

連帯保証人は、この貸付金の借受けによって生ずる一切の債務について、借主及び連帯借主と連帯して履行する。

(強制執行)

借主、連帯借主及び連帯保証人は、地方自治法施行令第171条による督促を受けた後相当の期間を経過してもなお債務を履行しないときは、強制執行を受けても異議のないことを認諾したものとする。

別記第10号様式の2 (第4条関係)

母子
寡婦 福祉資金貸付金借用書 (団体貸付用)

年 月 日

和歌山県知事 様

主たる事務所
の所在地

法人の名称

代表者職氏名

(連帯借主)

同

同

同

次のとおり借用します。

については、母子及び寡婦福祉法及びこれに基づく政令等の定めるところに誠実に従い、
相違なく償還します。

資金の種類	資金	貸付決定番号	号
借受金額	金 円也		
償還期間	年 月 日から		年 月 日まで
償還方法	月賦、半年賦、年賦償還 第1回分	円	
	第2回分以降	円ずつ	回

(注) 署名者全員の印鑑登録証明書を添付してください。

別記第12号様式及び別記第12号様式の2中「殿」を「様」に改める。

別記第13号様式中「殿」を「様」に、「借受者」を「借主」に改める。

別記第14号様式中「殿」を「様」に改める。

別記第15号様式の2を次のように改める。

別記第15号様式の2 (第8条関係)

第 年 月 号 日

様

和歌山県知事



母子 福祉資金増額決定通知書
 寡 婦

年 月 日付け申請の母子福祉資金は、次のとおり増額
 寡婦

して貸し付けることに決定しましたので通知します。

資金の種類	資 金		
貸付増額金額	金	円 (月額	円)
貸付期間	年 月から	年 月間	
	年 月まで		
償還期間	年 月から	年 月間	
	年 月まで		
償還方法	月賦、半年賦、年賦償還	第1回分	円
		第2回分以降	円ずつ 回

別記第16号様式中「借受人」を「借主」に改める。

別記第17号様式中「殿」を「様」に、「借受人」を「借主」に、「借受者の」を「借主」に、「借受者氏名」を「借主氏名」に、「借受者住所」を「借主住所」に改める。

別記第18号様式を次のように改める。

(表)

別記第18号様式 (第11条関係)

母 子 福祉資金支払猶予申請書 寡 婦								
借主氏名				住 所	〒			
資金の種類	資金		借受年月日	年 月 日				
借受金額	円		償還済額	元金		円		
				利子		円		
猶予申請額	円		猶予申請期間	年 月 日 年 月 日まで				
借主の家庭状況	同居家族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	月 収	一家の総月収	
							円	
	別居家族							同上支出
								円
	別居家族							資 産
								円
								負 債
								円
申請の理由	(連帯借主が償還できない理由など)							
申請内容の状況について	災害・疾病・負傷の場合				児童の就学の場合			
	災害の場合 発生年月日 年 月 日 (市町村長の罹災証明書を添付のこと)				入学年月日 年 月 日 (在学証明書を添付のこと)			
疾病・負傷の場合 通院(入院)年月日 年 月 日～ 年 月 日 (診断書を添付のこと)								
上記のとおり別紙証明書を添えて支払の猶予を申請します。								
年 月 日 住所 申請者 氏名								
※ 申請者が未成年の場合は法定代理人(親権者)が同意してください。 申請者 の 資金の支払猶予申請に同意します。								
法定代理人								
和歌山県知事 様								

(裏)

- (注) 1 申請者は、借主又は連帯借主としてください。
- 2 申請理由に関する証明書を必ず添付してください。(例えば、罹災の場合は市町村長の罹災証明書、傷病の場合は医師の診断書)
- 3 別居家族欄には、一親等内の親子のみについて記入してください。

別記第18号様式の2中「借受者」を「借主」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。